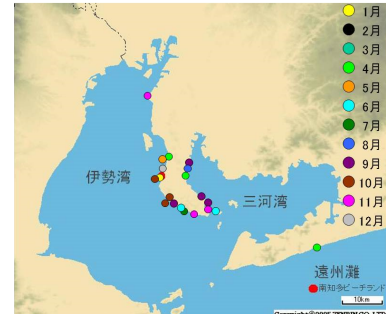
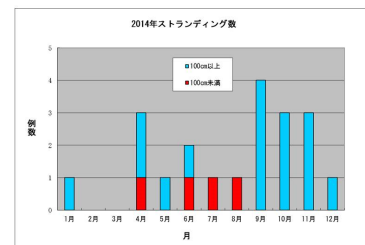


2014年にストランディングした海棲哺乳類について

南知多ビーチランドが2014年1月から12月まで取り扱った海棲哺乳類は、合計20例で、全てスナメリでした。発見場所は伊勢湾12例、三河湾7例、遠州灘1例でした(図①)。ストランディングの形態は、海岸への死亡漂着が19例、海岸への座礁が1例でした。性別は雄10例、雌4例、性別不明が6例でした。月別では、9月に4例と最も多く、10月と11月にも3例ずつ見られ、2月と3月はありませんでした(図②)。体長は77.5cmの新生仔(雌)から、184cmの個体(雄)までありました。体長100cm未満の新生仔は4例で、4月から8月までの期間に見られました。



図① 漂着場所



図② 月別グラフ

4月に、田原市大草海岸で座礁したスナメリは、臍帯のついた雌の新生仔でした(写真①～③)。明け方に座礁しているところを発見され、当園が連絡を受け、車で約3時間かけ向かい、現場に到着したときにはまだ生存していました。そこで緊急処置を行い、当園まで車で搬送している間に、残念ながら死亡しました。新生仔ということで体力も弱いなか、少しでも命を長らえることができたのは、現地の方々の介護もあったおかげだと思います。



写真① 座礁したスナメリの介護風景



写真② 座礁したスナメリの介護風景



写真③ 座礁後、死亡したスナメリ

今後も、海洋や海岸で鯨類などを発見された際には、ご協力のほどよろしくお願ひします。(杉田圭輔)